

## 令和4年度 学力等調査の結果について

令和4年度に実施された全国学力・学習状況調査（文部科学省）について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

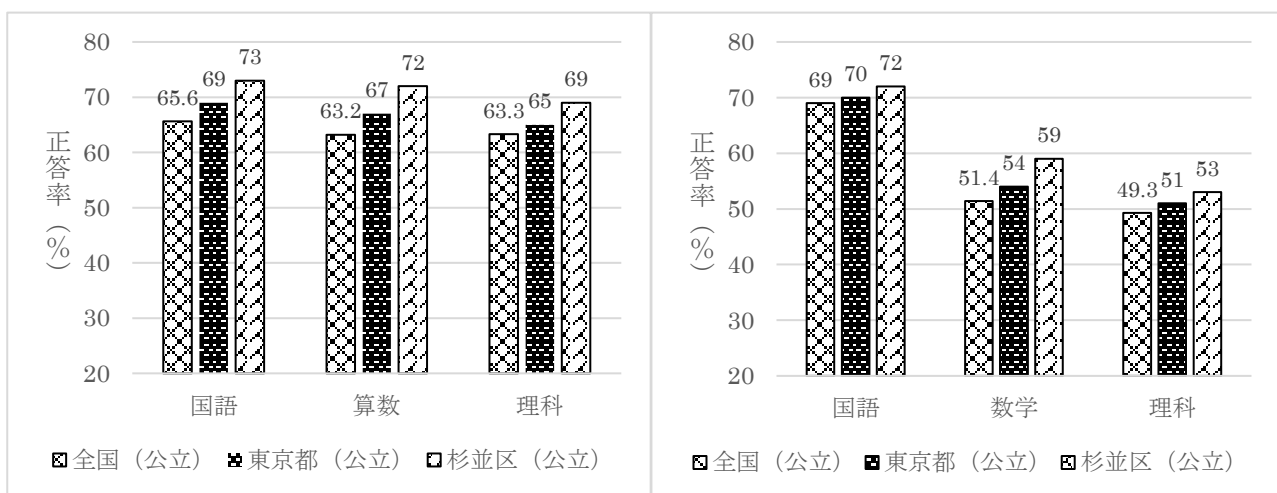
### 1 令和4年度 全国学力・学習状況調査（文部科学省）

目的	児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習指導の改善等に役立てる。
対象	・公立、国立、私立小学校第6学年 ・公立、国立、私立中学校第3学年
調査内容	①教科に関する調査 ・小学校：国語、算数、理科 ・中学校：国語、数学、理科 ②質問紙調査
調査日	令和4年4月19日（火）

### 2 調査結果の概要

#### (1) 全国（公立）、東京都（公立）との比較

平均正答率（％）について全国（公立）、東京都（公立）と比較すると、杉並区（公立）は、全教科で全国（公立）、東京都（公立）を上回っている。



小学校第6学年

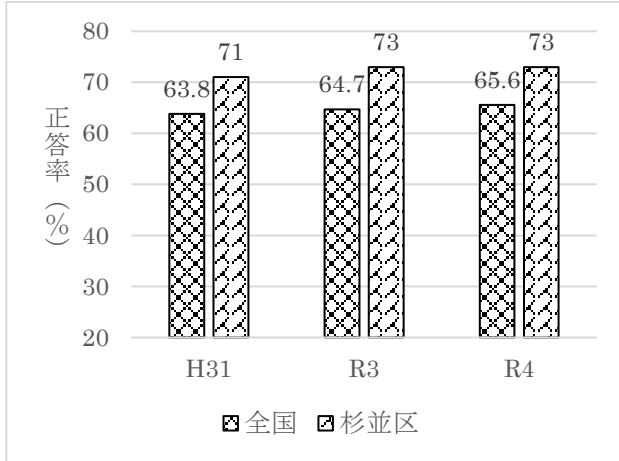
中学校第3学年

※いずれも、都、区は小数第一位を四捨五入した値

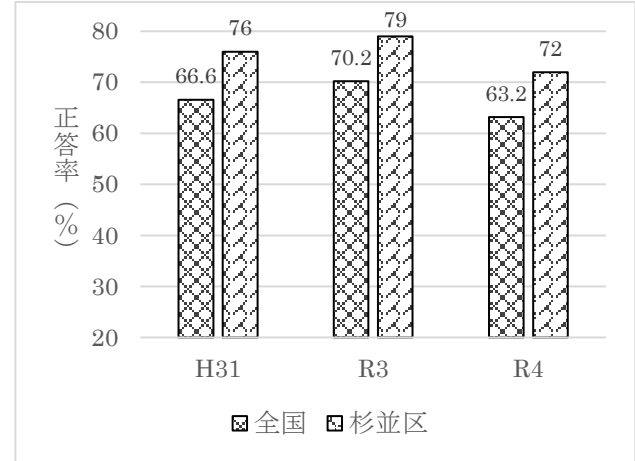
## (2) 経年変化

平成 31 年度、令和 3・4 年度の全国学力・学習状況調査における結果において、杉並区の平均正答率は、全ての教科で全国よりも上回っている。※令和 2 年度は調査の実施なし。

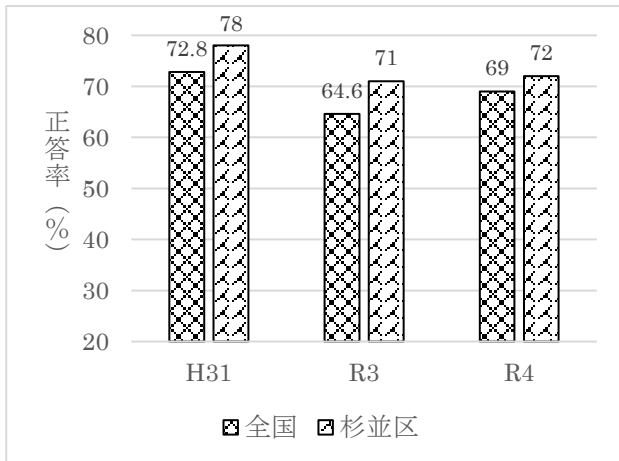
小学校国語



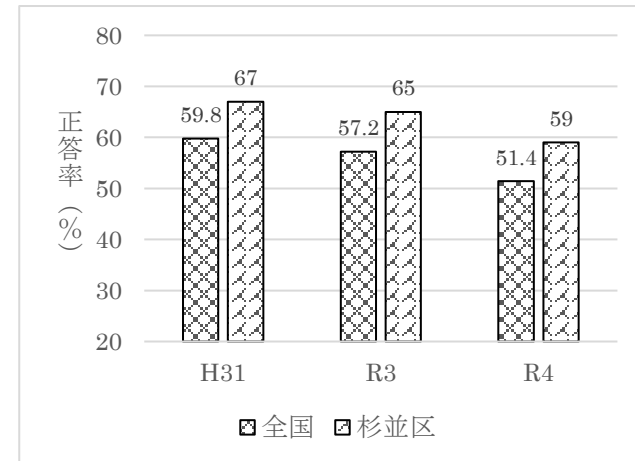
小学校算数



中学校国語



中学校数学



## 3 課題及び今後の取組

### (1) 課題

- ・学習指導要領に新設された小学校算数及び中学校数学【データの活用】領域において、正答率は全国と比較して上回っているものの、日常生活の問題を解決するためにグラフ等からデータの特徴等を読み取る設問の正答率が低く課題がある。
- ・中学校国語【書くこと及び情報の扱いに関する事項】において、ウェブページの資料から必要な情報を引用して、意見文に書き加える問題の正答率が 43.6% であり、全国よりも 2.9% 下回った。多様な情報から必要なものを取捨選択し、自分の考えに活用することに課題がある。

### (2) 今後の取組

- ・児童生徒が日常的にタブレット端末を使用し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり、自分の考えを形成したりする学習を積み重ねることができるよう各学校の ICT 活用の推進を図る。
- ・学力調査結果等のデータをもとに、課題に応じた学校訪問型研修を充実させ、各学校の授業改善を支援する。